

笠間クラインガルテンを卒業して改めて感じる笠間のすばらしさ 文・亀山吉男



20年ほど前、陶芸や絵画の好きな家内が笠間日動美術館に大好きなモジリアニがある事を知り、見学に行き、ローランサンや佐伯祐三を始め、内外の沢山の素晴らしい絵画を堪能させていただきました。春風萬里荘や何軒かの陶芸店を鑑賞し、これを機に、私と家内との年3～4回の東京からの笠間詣でが始まりました。笠間は私達を引き付ける魅力だらけの街です。

この笠間詣でが14年続いた7年前、ドイツ旅行でクラインガルテンを見学してきた家内が、笠間にはクラインガルテンの草分けともいえるものがある事を知り、長年の夢であった野菜づくりに挑戦したい事や、笠間に住んでみたい願望にとらわれ、6年前、笠間クラインガルテン（宿泊施設付き市民農園）への入村を申し込みました。現在では評判が高く、10倍以上の高倍率の難関をくぐり抜けなければ入村する事は出来ません。当時は2倍程度の倍率でした。市の担当の方々や農業指導の先生の面接を受け、合格が決まるまでは、高校や大学受験生が発表を待つ気持ちと同じ様なものでした。お陰さまで第4期生として2004年4月、笠間の生活が始まりました。

旧笠間市長、数名の旧市議会議員、南指原堂を

守る会の会長様を来賓とし、既に村民となっている100名弱のガルテナー参列による、我々8家族に対する入村式が行なわれました。宴がたけなわになった頃、ある議員さんに言われた事が今でも脳裏に強烈に残っております。

「私はガルテンを作る事を議会で反対した。今では本当に作って良かったと思っている。反対した理由は、このガルテンは国や県の補助はあったが基本的には笠間市民の税金で建てられた」「ガルテナーの年間支払額を相当超えた費用が毎年掛かっている」「ガルテナーとしてこの費用を超える分、是非笠間市や市民に貢献して頂きたい」。この時、笠間市に貢献しなければと決意しました。

地元の農家の方を先生とした毎週土曜日の野菜作り指導。無農薬、有機栽培で初めて作った人参、大根、茄子、きゅうりが出来た時の感激。ガルテナー共同作業でつくるジャガイモ、里芋、温海かぶ、田植え体験等。良い野菜作りは土づくりの大切さと学びました。取っても取っても生える雑草との戦い、農家の方々の苦勞が身を持って体験できました。毎日毎日が夢のような生活でした。また市民の皆様方とも積極的に交流を図れる事の楽しさを味わいました。この素晴らしいチャンスを我々に与えて下さったのは、笠間市民、市長、市議会議員の方々、本戸や南指原の住民や地権者の方々です。これ等の皆様方に感謝の念で一杯です。笠間クラインガルテンは出来るだけ多くの都会人に笠間を知って頂く事や、常にマンネリ化を防ぎ、新しい風の導入を考慮し、最長5年迄ガルテンでの生活が出来る契約になっております。この契約の満期5年間でアッという間に過ぎ、本年3月で

ガルテンを無事卒業しました。

歴史と文化の街、芸術と陶芸の街「笠間」。都会の喧騒から離れ、のどかな里山と田園風景のある笠間は心の故郷でもあり、素晴らしい街であります。ガルテンから車で14～15分の平町に家を借用いたし、継続し、笠間生活を楽しむ事が出来るようになりました。笠間の素晴らしい事は、第一に四季折々の変化の豊富さにあります。4月の桜、里山の山桜、穴戸地区の枝垂桜、佐白山や愛宕山の山々を埋め尽くす桜、里山が薄ピンクに彩られる姿。5月、田植え時期の蛙の鳴き声の合唱を聞き、6月には、都会では見られなくなった里の源氏堂の群舞、平家堂の物寂しい光、はるか昔の子供の頃を思い出させてくれます。7・8月は澄み切った満天の星空、今では日暮蟬が「カナカナ」と鳴き都会では味わえない四季折々の感動があります。第二の素晴らしい事は、茨城の県民性というか、笠間の方々の包容力というか、親しくお付き合いさせて頂いて来た多くの農家の方々、住民の方々の暖かさ、親切心、人情味です。本戸を離れ平町に住み始めました。近隣の方々とお付き合いに心配しておりましたが、前のおじいちゃんはゴミ出し日を紙に書き教えてくれるし、困った時は相談に来いと言ってくれます。裏の養鶏場のご主人は野菜づくりに必要な鶏糞は何時でもただで持って行けと言ってくれます。隣の栗畑の先生及びご子息ご夫妻様には沢山の美味しい栗を頂きました。前の自動車修理工場のご夫妻には野菜を頂きました。人との触れ合い幸せの真只中に居ります。笠間頑張れ。素晴らしい笠間の益々の発展を願って。ありがとうございました。笠間の皆さん方。

笠間ファン倶楽部 ＊ニーズ調査のお願い＊

笠間ファン倶楽部事務局では現在、新たなサービスの提供について検討を行っているところです。これに伴い、会員の皆様のご意見を伺うため、ニーズ調査の実施を予定しております。後日、ホームページとメールにて、ニーズ調査のお願いをしたいと考えておりますので、是非ご回答をお寄せください。皆様笠間ファン倶楽部に何を求めているのか？を教えてください。できればと思います。会員の皆様のご協力、よろしくお願いします。



ご協力をお願いします！

笠間のいなり寿司推進キャラクター「笠間のいな吉」

笠間ファン倶楽部 ＊会員募集中＊

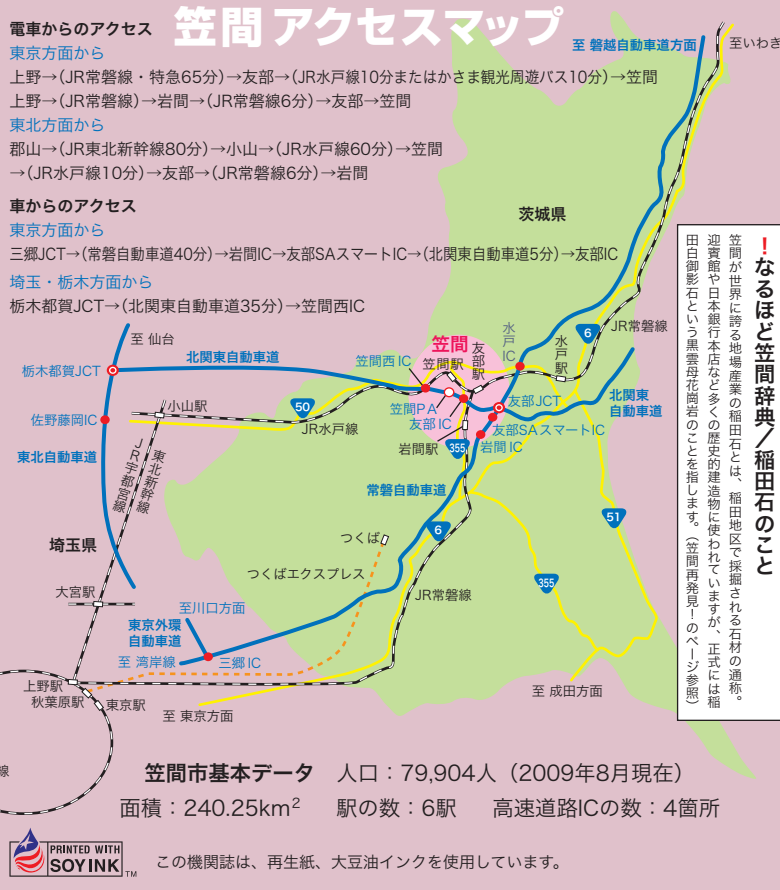
笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多い笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

●会員特典/レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、スカイロッジ宿泊料金を20%割引(土曜、祝前日、7/21～8/31の期間は除く)、本誌の発送(年4回)ほか多数！

●申込み/住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで下記へ。

申込み先/笠間市産業経済部 商工観光課
〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

＊おねがい＊
メールの際には、タイトルに「笠間ファン」と記載してください。



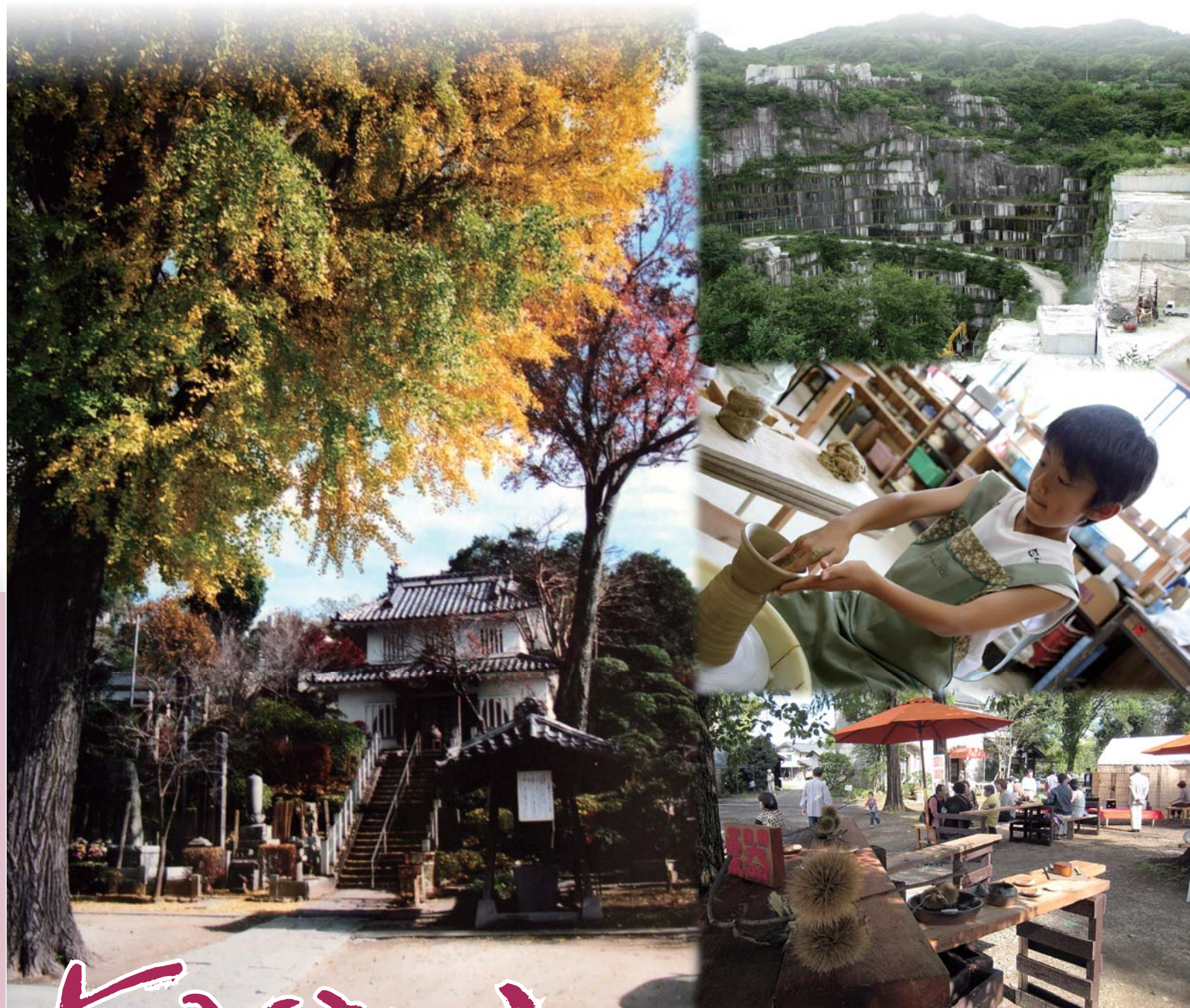
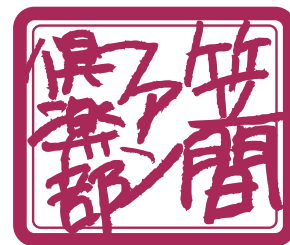
笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2009 秋号

VOL.020

http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



Kasama

表紙の写真/（左側）秋の真浄寺境内、（右側上より）稲田石切山脈、周遊旅行プラン「笠間発見伝」の陶芸体験に参加した少年、かさま新栗まつり

秋のイベント情報

体験型の周遊旅行プラン「笠間発見伝」スタート

笠間昔話

世界に誇る稲田石

観光客が選ぶおすすめショップ

笠間再発見！

アートな街歩きを楽しむ

FAN FAN KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！

第3回 かさま新栗まつり

我らは笠間応援団！ ほか

世界に誇る稲田石

笠間昔話

稲田駅構内加工場全景（昭和29年） 写真提供／石の百年館

第5回 いなだストーンエキシビジョン
10/10(土)～10/12(月・祝) 9:00～16:00
場／中野組石材工業(株)石切場
○東京ミッドタウン特別展
10/23(金)～11/3(火・祝)
場／東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン

【稲田石資料館 石の百年館】
住／笠間市稲田4303
電／0296-74-2901
休／月曜日
(祝日の場合はその翌日)
営／10:00～16:00
料／大人300円、中学生200円



石を加工する道具などを展示。石器時代から現在までの変遷も分かります。

ストーンエキシビジョン会場。向こう側には石切山脈が見えます。

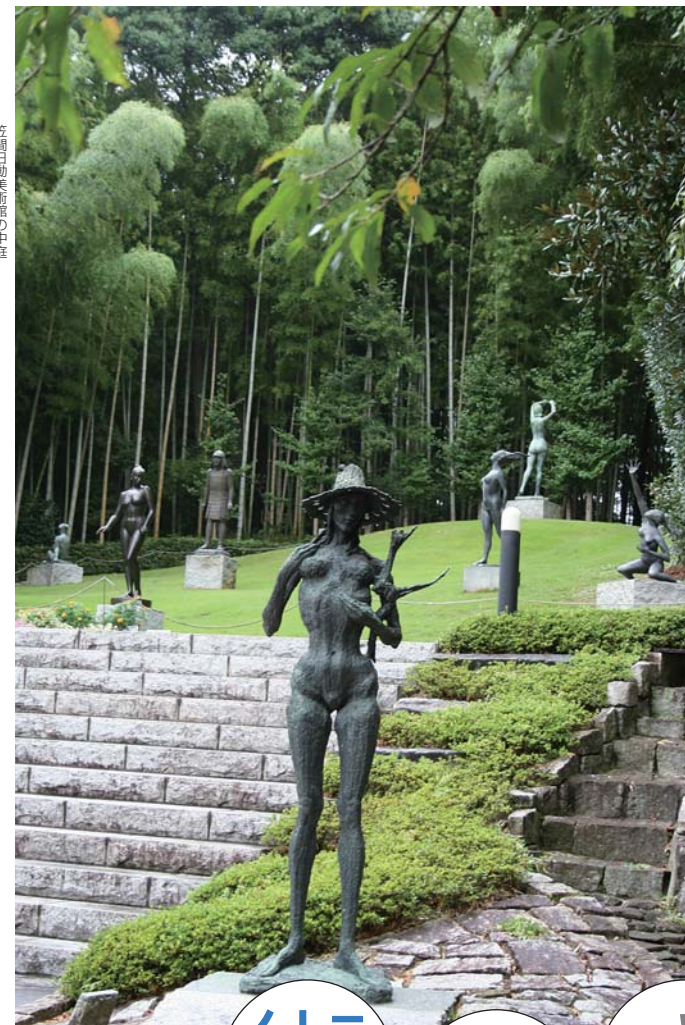
多くの歴史的建造物に使用

笠間が世界に誇る地場産業に稲田石があります。正式には稲田白御影石という黒雲母花崗岩のことで、稲田地区で採掘される石材の通称です。約6500万年前に、地下深くマグマが貫入してできました。

その特徴は白さと硬さ。特に美しく輝くその白さは、世界でもトップクラスといわれています。その分布は東西約20km、南北約10kmの通称「石切山脈」と呼ばれる広大な地域で、地下にはどれだけの深さがあるのか、未だ解明されていません。現在見えている所は、ほんの氷山の一角に過ぎないそうです。石材として利用されたのは江戸時代からで、本格的に採掘されたのは明治22年頃。御影石の本場、小豆島（しょうどしま。香川県に属する瀬戸内海、播磨灘にある島）から職人が移り住んで始まったそうです。現在では採掘量、業者数は日本最大級です。ちなみに笠間焼の土の源も稲田石の風化した成分といわれています。

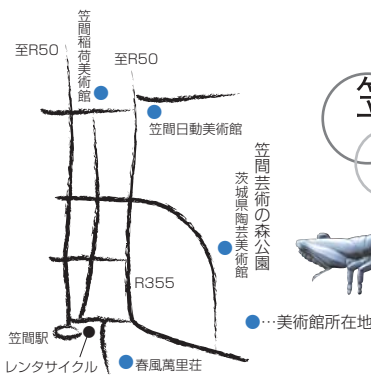
稲田石の百年の歴史を記念し、貴重な採掘・石材関連の資料を絶やさずに残し、公開するために、1995年3月に「石の百年館」が(株)タカタの付属施設としてオープンしました。結城紬をイメージし、稲田石で組み上げられた美しい建物で、館内には鉄矢(くさび)や玄翁(げんのう)、ノミを使って石を切り出し加工していた時代から、ジェットパーナーや黒色火薬、重機を使って採掘する現代までの流れを、たくさんの資料で展示しています。また、近くにストーンエキシビジョンの会場があり、現代アートのモニュメントを多数展示。そこから眺める石切山脈は、まるで渓谷のような絶景です。

稲田石は世界中で使われています。日本でも迎賓館や日本銀行本店、最高裁判所、広島原爆慰霊碑、国技館、昭和天皇陵など、多くの歴史的建造物に使われており、日本を代表する石材といえるでしょう。笠間ファンの皆様にはこれを機に、世界に誇る稲田石を再認識してもらえたらと思っています。



笠間日動美術館の中庭

笠間アートのまちめぐり*9/16-11/29



笠間再発見！VOL.020

報告・キッズ&アニマルズ！

夏休みに行われた「キッズ&アニマルズ」は、子供向けの街歩きイベント。動物をモチーフにしたアート作品を探しながら笠間市内を巡るというもので、多数の参加をいただきました。ありがとうございました！

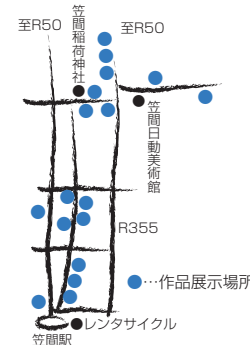
美術館4カ所をハシゴする贅沢

笠間を代表する4つの美術館（笠間稲荷美術館、笠間日動美術館、茨城県陶芸美術館、春風萬里荘）を巡るシールラリー「笠間アートのまちめぐり」が、9月16日から11月29日まで笠間市内の各館で開催されます。各館に置かれているシールを全て集めると、次回展が鑑賞出来るペアチケットをプレゼント。さらに抽選で笠間焼が当たるWプレゼントもあります。美術館から美術館までは少し遠いので、周遊バスや自転車を利用した方がいいかも。また、会期中は各会場でコンサートや講演会、野点茶会なども開催。ゆっくりと休憩をとりながら、1日かけてアートの街「笠間」を満喫しましょう。各館のスケジュールについては、4ページのイベント情報を参考にしてくださいね！

アートな街歩きを楽しむ



街の散策には自転車が便利。笠間駅前のレンタサイクルは基本料金が2時間300円。1時間増100円。1日800円。



現代アート作品を巡りながら…

たくさんの現代アート作品を鑑賞しながら、ゆっくりと笠間の街を散策出来るイベント「Art Cocktail in 笠間」が、10月10から10月24日まで開催されます。2006年以来、笠間では2回目の開催となるアートカクテルですが、参加するアーティストは30人以上。それぞれに工夫を凝らしたこだわりの作品が、笠間市内の店舗、空き店舗、高校などに展示されます。おすすめの鑑賞ルートは笠間駅前からスタートし、笠間稲荷神社方面へ向かうルート。所要時間は歩きでも2時間ほどなので、じっくりと徒歩で散策することをおすすめします。せっかちな人はレンタサイクルを利用してもいいでしょう。講演会やアートカクテルBar、景品がもらえるスタンプラリーも開催されます。

アートカクテル2006にて 松岡圭介/a standing man



Art Cocktail in 笠間*10/10-24

秋のイベント情報

EVENT INFORMATION

笠間稲荷神社

小笠原流弓馬術三三九手狭式

9/23(水・祝) 開演12:30

場／笠間稲荷神社 境内

中秋祭

10/3(土) 16:30～ 場／笠間稲荷神社 境内

笠間稲荷神社「薪能」

10/12(月・祝)

料／5,000円 場／笠間稲荷神社拝殿前

第102回 笠間の菊まつりオープニングイベント

10/17(土)9:30～

場／笠間稲荷神社 楼門前

大菊花展及び市民菊花展

10/17(土)～11/23(月・祝) 6:00～日没

場／笠間稲荷神社 境内

菊人形展 大河ドラマ「天地人」全13景

10/17(土)～11/23(月・祝) 8:30～16:30

場／笠間稲荷神社 特設会場

料／大人(高校生以上)800円、小中生400円

私の好きな笠間図画コンクール

10/17(土)～11/23(月・祝) 8:30～16:30

場／笠間稲荷神社 特設会場

キツネ土面展示

10/17(土)～11/23(月・祝) 8:30～16:30

場／笠間稲荷 門前通り周辺

假屋崎省吾の世界

10/18(日) 13:00～

フラワーデモンストレーション&トークショー。

場／笠間稲荷神社 稲光閣

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

神事 流鎧馬(やぶさめ)

11/3(火・祝) 10:00～、14:00～

場／笠間小学校前特設馬場

かさま・菊あかり回廊

11/6(金)～11/8(日) 17:00～20:30

神社境内のライトアップと、竹・笠間焼・みかげ石による灯り演出。また、境内コンサートや夜の菊人形展(無料開放)、商店街イベントなど幻想的な夜をお楽しみ下さい。

場／笠間稲荷神社境内、門前通り商店街

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

奉納 笠間示現流居合抜刀術

1/7(土) 11:00～ 場／笠間稲荷神社 境内

かさま落語会

11/7(土) 15:00～

二代目林家木久蔵、春風亭勢朝、立川藤志楼と高田文夫の出演。

場／笠間稲荷神社 嘉辰殿

問／ツナカワ tel 0296-72-7127

奉納 大和古流

11/8(日) 10:00～ 場／笠間稲荷神社 境内

舞楽祭

11/15(日) 10:00～、14:00～

問／tel 0296-73-0001 www.kasama.or.jp

笠間アートのまぢめぐり

9/16(水)～11/29(日)

笠間稲荷美術館、笠間日動美術館、茨城県陶芸美術館、春風萬里荘の市内4か所の美術館等を巡るシールラリー。参加者は入場料を割引き等の特典あり。※3ページに関連記事あり

問／茨城県陶芸美術館 tel 0296-70-0011

www.tougei.museum.ibk.ed.jp

【笠間アートのまぢめぐり 参加美術館】

1 笠間日動美術館

向井潤吉展 懐かしき日本の原風景

9/16(水)～11/29(日)

ひだまりの茅葺き民家

茨城に見る日本の原風景 柳下征史写真展

9/16(水)～11/29(日)

宗次郎 オカリナコンサート

9/19(土) 開演18:00

料／一般3,000円、中学生以下2,000円

講演会「向井潤吉の画業にふれて」

10/11(日) 14:00～15:00

講演会「茨城に見る日本の原風景―茅葺き民家を撮り続けて」

11/3(火・祝) 14:00～15:00

オトマトベ・ブチコンサート(マリンバ&パー

カッションユニット)

11/14(土) 14:00～ 無料

問／tel 0296-72-2160

www.nichido-garo.co.jp/museum

2 茨城県陶芸美術館

ガラスの植物学者 エミール・ガレ展

9/26(土)～11/29(日)

料／一般1,000円、大高生800円、小中生400円

休／月曜(9/21、10/12、11/23は開館、9/24、10/13、11/24は休館)

ミュージアムコンサート(入場無料)

11/13(金) 11:00～、14:00～

ガラスの茶会～ガレの陶器とともに～(呈茶券500円)

11/7(日) 11:00～16:00 先着80名

問／tel 0296-70-0011

www.tougei.museum.ibk.ed.jp

3 笠間稲荷美術館

木村武山展 10/17(土)～11/29(日) 9:00～16:30

料／大人500円、高大生400円、小中生300円

問／笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001

www.kasama.or.jp

4 春風萬里荘

2009 魯山人野点茶会

11/22(日)・11/23(月・祝)

笠間焼の茶碗でいただく、どんなても気軽に参加出来る野点茶会です。なお、春風萬里荘は北大路魯山人の旧居。魯山人自ら設計した茶室や手製の家具等を常設展示しています。

休／月曜(9/21、10/12、11/23は開館、9/24、10/13、11/24は休館)

問／tel 0296-72-0958

www.nichido-garo.co.jp/shunpu/

笠間工芸の丘

ランディ・E・ウーヅィと松田和美展 9/2(水)～9/13(日)

古川欽也・雅子作陶展 9/9(水)～9/21(月・祝)

とうてつふもく展 陶鉄布木展 9/16(水)～10/4(日)

河野章作陶展 9/22(火・祝)～10/4(日)

伊藤東彦陶展 10/7(水)～10/25(日)

小品展 10/7(水)～11/8(日)

小林東洋作陶展 10/28(水)～11/8(日)

佐藤しづ展 11/11(水)～11/23(月・祝)

山路陶房展 11/11(水)～11/23(月・祝)

中川浩道「器展」 11/26(木)～12/13(日)

飯野英寿作陶展 11/26(木)～12/13(日)

問／tel 0296-70-1313

www.kasama-crafthills.co.jp

笠間火器～EAT&CRAFT 街なか～

9/19(土)～9/23(水・祝) 9:00～17:00

場／登り窯広場(松佐陶工房隣)、笠間市内笠間焼販売店

問／笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

www.kasamayaki.or.jp

第3回 かさま新栗まつり

10/3(土) 9:00～16:00、10/4(日) 9:00～15:30

栗に関連したハンドメイドフェア。

場／市民センターいわま(笠間市役所岩間支所)

問／笠間市農政課 tel 0296-77-1101

月見の会

10/3(土) 18:00～20:00

月夜の晩に、つつじ公園からの夜景を見ながら、邦楽を聴く静かな夜を楽しみましょう。

場／笠間つつじ公園

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

第12回 笠間焼フェア

10/10(土)～10/12(月・祝) 10:00～17:00

場／笠間工芸の丘特設会場

問／笠間焼協同組合 tel 0296-73-0058

www.kasamayaki.or.jp

第5回 いなだストーンエキシビジョン

10/10(土)～10/12(月・祝) 9:00～16:00

日本を代表するグラフィックデザイナーと稲田の石職人が制作した作品の展示。

場／中野組石材工業(株)石切場

問／稲田石材商工業協同組合 tel 0296-74-2049

アートカクテル in 笠間 ～街なか現代美術展～

10/10(土)～10/24(土)

10:00～17:00(最終日は16:00まで)

街なかの店舗や空きスペースに現代美術を展示。

アートカクテルBar、美術講演会、スタンプラ

リーなど。※3ページに関連記事あり

休／10/13(火)、10/19(月) 入場無料

場／笠間地区市街地内

問／アートカクテル企画室 tel 090-9005-0531(吉岡)

http://artcocktail.ciao.jp

ミッレミリア in 笠間

10/13(火) 通過予定7:00～8:30

有名人多数参加。歴代の名車が大集合するクラシックカーのラリー。笠間稲荷神社前がチェックポイント。

場／笠間稲荷門前通り・国道355号

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

ふるさと友部まつり

10/17(土) 9:00～16:00 10/18(日) 9:00～15:30

歌謡ショーのほか、農産物の販売や模擬店、パザーなどを開催。

場／笠間市立友部公民館ほか

問／ふるさと友部まつり実行委員会(笠間市友部商工会) tel 0296-77-0532

がまかつ全日本ヘラブナ釣り選手権

10/17(土)・10/18(日) 場／湯崎湖

問／tel 0296-78-0127

www.euclid.jp/yuzakiko/event.jsp

出雲大社 常陸教會

秋季大祭 10/18(日) 11:00

出雲屋敷祈念祭 11/23(月・祝) 8:00

ご遷座記念祭・龍蛇神祭 12/16(水) 17:00

年越大祓祭 12/23(水・祝) 14:00

問／tel 0296-74-3000

www.izumotaisha.or.jp

おいなりサミット2009

第4回 笠間のいなり寿司コンテスト

10/25(日) 開場12:30、審査開始13:00

アイディアいなり寿司のコンテスト。

場／笠間稲荷神社 稲光閣

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

www.city.kasama.lg.jp/ss_info/index.html

第20回 匠のまつり／

いばらきストーンフェスティバル2009

10/31(土)～11/3(火・祝) 9:00～16:00

場／笠間芸術の森公園イベント広場

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

笠間骨董我楽多市

10/31(土)～11/3(火・祝) 9:00～16:00

場／笠間稲荷神社前笹目酒造裏駐車場

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

六所神社祭礼

11月上旬 場／六所神社

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

常陸の國 韃祭(ふいごまつり)

11/8(日) 11:00～

場／天正宮公誠殿境内(岩間地区)

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

「登り窯で焼こう！」登り窯焼成

11/9(月)～11/14(土)予定

場／笠間工芸の丘 登り窯

問／tel 0296-70-1313

www.kasama-crafthills.co.jp

'09いわま商工まつり

11/15(日) 9:00～15:00

場／笠間市岩間商工会

問／笠間市岩間商工会 tel 0299-45-5711

www16.ocn.ne.jp/iwama-s

おいなりサミット2009

第3回 ひょいバク選手権

11/21(土)・11/22(日) 10:00～15:00

笠間名物いなり寿司を中心に「ひょい」とつま

んで「バクッ」と食べたい街の名物が大集合！

場／笠間稲荷神社大型車お祝い所

問／笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

笠間観光フォトコンテスト作品募集

応募期限 11/27(金) まで

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

やきもの通り 登り窯まつり

12/4(金)～12/6(日)

伝統の登り窯に今年も火が入ります。

場／やきもの通り・奥田製陶所

問／奥田製陶所 tel 0296-72-0717

陶のオルゴール展

12/5(土)～12/25(金)

笠間焼のオルゴールの展示販売。

場／陶の小径

問／やまさき陶苑 tel 0296-72-6865

第4回かさま陶の里マラソン大会

12/20(日) 9:00～

場／笠間芸術の森公園

問／笠間市スポーツ振興課 tel 0296-77-1101

悪態まつり

12月予定 場／愛宕神社

悪態(悪口)を言い合い、天狗に邪魔されながらお供え物を奪い合うという変わったお祭り。

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp

あたご天狗の森 スカイロッジ

クリスマスプラン

12/19(土)～12/25(金)

スペシャルケーキやオードブルなどのクリスマスディナーと朝食が付いた限定プランです。

料／4人棟19,800円、6人棟29,500円、12人棟49,300円(要予約)

問／(社)笠間観光協会 tel 0296-72-9222

www.kasama-kankou.jp



体験型の周遊旅行プラン「笠間発見伝」 新たな笠間を知る17コースがスタート！

笠間市内周遊プラン「笠間発見伝」は、今まで経験出来なかった新しい笠間を再発見出来る旅行プランです。近畿日本ツーリストの協力により17コースが企画されたこのプランには、稲田みかげ石にスポットをあてたプランや座禅体験、エコをテーマにしたMY箸作りなど、ユニークなプランがいっぱいです。



Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう！



笠間には栗畑がたくさんあります。日本有数の生産高を誇ります。



今年は会場を市民センターいわまに移して開催。昨年以上の盛り上がりが期待されています。



昨年の「かさま新栗まつり」の様子。たくさんの人が来場し盛り上がりしました。

【その18】日本有数の栗の産地としての発展を 第3回 かさま新栗まつり

栗の生産高日本一を誇る茨城県。その県内でも笠間市は、日本有数の栗の産地です。しかしながら笠間の栗のブランド力、一般の方への認知度という点で見ると、必ずしも十分なものとはいえないというのが現状のようです。

そんな状況を打破すべく、有数の栗産地として更に発展するため「かさま新栗まつり」が開催されています。主催は栗生産農家、菓子業者、陶芸家、関係機関等で構成される「笠間の栗を考える会」。官民一体となつての一大PR作戦です。一昨

年、昨年と開催されましたが、どちらも大盛況。大勢の方々に笠間の栗の魅力を知っていただくことが出来ました。3回目を迎える今年は、会場を市民センターいわま（笠間市役所岩間支所）に移し、増々パワーアップ。栗スイーツと陶のセッション(展示・販売)、栗を素材にしたハンドメイドフェア、栗を使ったゲーム、茶席などの楽しいイベントが行われます。この機会にぜひ笠間に足を運んでいただき、笠間の栗のおいしさを知っていただければと思います。

開催日時／10月3日(土) 9:00～16:00
10月4日(日) 9:00～15:30
開催場所／市民センターいわま
(笠間市役所岩間支所)
主催／「笠間の栗」を考える会
問合せ先／かさま新栗まつり実行委員会事務局
笠間市役所農政課内
電話 0296-77-1101
<http://www.city.kasama.lg.jp/>

観光推進マネージャー 小沢に訊け！ 第5回

小沢 敦…茨城県初の観光推進マネージャー。大手旅行代理店より笠間市に転出中。

笠間周遊プラン「笠間発見伝」ついに販売開始！

Q：従来のモデルコース等とは全く異なる旅行商品、周遊プラン「笠間発見伝」が完成し、販売が始まったということですね。まず、具体的なプランについて教えてください。
小沢：何といっても笠間らしさに拘ったオリジナルティです。既に大手出版社から二度の取材があり、実際のプランを体験して頂きました。一回目は「自作の一日：コースNo.0112」に参加し、MY箸作りをして、そば打ちを行い、自作したMY箸で打ちたてのそばを食し、その後、陶芸で箸置きとそば猪口を作るプランです。取材スタッフから「自作の内容に連続性があり、楽しさが3倍化できた」との評価を頂きました。二回目は、「心を洗う笠間の1日：コースNo.0107」でした。西念寺で親鸞聖人の教えを分かりやすく説明して頂き、荘厳な雰囲気の本堂で自然に自分を見つめ直すことができました。昼食は西念寺の象徴イチョウを意識して丁寧に作られた精進料理です。午後は鳳凰院で坐禅体験の作法を教わり、写生を行いました。「非日常体験ができ本当に心が洗われた」との感想を頂きました。二度とも取材スタッフから「これまでの笠間観光の先入観を一変させてもらった」との評価を頂きました。また、これらの取材は、20代30代の働く女性を対象にしている情報誌の取材でした。これまで、この年代の笠間ファンは少数派でしたが、新たな年代のファンが広がる実感がもてました。

Q：素晴らしい商品が出来上がったみたいですね。ところで「笠間発見伝」という商品名について教えてください。

小沢：コンセプトに関係しています。これまで述べてきたことですが、「笠間にしかない魅力」を発見し伝える。そして、旅人と笠間人の交流から「共に感動を発見できる旅」ということです。

Q：なるほど！では、具体的な申込方法は、どうすれば良いのですか？

小沢：インターネットサイト「旅の発見」を開き、トップページでフリーワード検索に「笠間発見伝」と入力すれば、17プラン全ての詳細を見ることが出来、予約も可能です。更に、関東信越静岡地区のショッピングセンター内にお店を出している旅行会社（約140店）にもパンフレットを配置します。そのお店で申込みも可能です。もちろん、笠間観光協会へパンフレットを請求いただくことも可能です。ぜひ、皆様、新しい感動を体験ください。



観光客が選ぶおすすめシヨップ

栗 今年も新栗が実りました！



小澤栗園

住／笠間市土師637
問／0299-45-2505
FAX／0299-45-2901
休／年中無休
<http://homepage3.nifty.com/kozawakurien/>



菓 創業80年の郷土和菓子の老舗

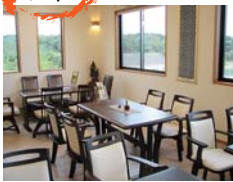


松島製菓

住／笠間市笠間1335
問／0296-72-0101
営／7:30～20:00 年中無休
<http://www.inariyubeshi.com>



茶 美容＆健康の癒しのオアシス



けんこう茶屋

住／笠間市大田町292-16
問／0296-77-1044
営／10:00～18:00 休／日曜
<http://www.kenko-chaya.com>

今年4月にオープンした、緑の山々の借景が素晴らしい、水にもこだわるお店です。優れた薬効が生薬のキングと評される蝦夷五加茶や人気の蝦夷五加けんこうゼリー(350円)、中国・台湾茶、ブレンドハーブティーなどを楽しむことができます。また、アトピー、アレルギーを緩和すると注目の、ホワイトリリーAMPシリースのスキンケア相談にも応じています。



間 ファンファンインタビュー



takayuki machida
町田 享之さん
ふるさと案内人

岩間生まれ岩間育ち。81歳。岩間中学の教員を振り出しに、小川、川根、妻里小から筑波の大形小を経て、ふる里の岩間二小で退職。社会教育指導員や教育委員・委員長を務め、側面から学校教育や教育行政に参画。

観光資源の開発を願って

●指導員時代
郷土史研究会の方々の協力を得ながら、町内外の歴史資料の収集や保護・保存活動に力を尽くし、発掘資料や戦争体験記・岩間の女人堂等々を「史料いわま」に掲載し、文化祭等にも展示しながら、岩間町史編さんへの機運を醸成し、発刊に至ったことは、心に残る思い出の一つです。

●神主として
六所神社・羽梨山神社・鳥栖神社の神主として神事・祭礼等に奉仕しています。幾百年に亘って地域の先達・氏子の方々が崇め護って来られた鎮守の杜（もり）やお社（やしろ）は、地域の貴重な文化・歴史遺産であり、心の拠り所となってきましたが、これを受け継ぎ護り、後の世代に引継ぐ事は私達の勤めであり、郷土愛・家族愛の原点であると思います。みんなで鎮守様にお参りをし、家族や地域

の絆を深めたいものです。

●趣味

歴史遺産や自然の探訪です。幾世代にわたって護られてきた神社仏閣に心惹かれ、悠久の時を刻みながら現代に息づく自然に魅せられて、北は利尻礼文・知床から南は沖縄種子島、そして海外へ。その思い出、感動は「歌で綴る旅日記」として歌集にまとめましたが、これは私の貴重な財産となっています。また、歩くことが健康の基本との思いから、愛宕山周辺や白鳥湖等いくつかのコースを決めて歩き、また、シニアーズ・卒業生グループなどとの月2～3回のゴルフを楽しみ、健康保持に努めています。

●ふるさと案内人

歴史ウォーキングの企画や郷土史クラブ代表としてボランティア活動をしてきた時、誘われてふるさと案内人の会に入りました。笠間や友部の案内が多いのですが、私のホームグラウンドは岩間地区内。着地型観光が注目を集めつつある時、愛宕・難台山を中核とした観光資源を開発しながら奉仕ができればと願っています。

人 ファンファンビープル

Masami Yoshioka
吉岡 まさみさん
美術家

アートカクテル企画室 代表

アートカクテル in 笠間

「笠間にすれば？」と美術家でもある陶芸家のF氏は言った。東京都内で美術展の会場を探していた時のことである。アートカクテルという現代美術のグループ展を企画していた私は、30人のアーティストの作品発表の場所として、都内の空きビルや倉庫などを物色していたのだが、なかなかこれといった会場が見つからず、難渋していた。そんな時、都内のギャラリーでF氏に会った。そこで、私の企画のことを話すと彼は即座に笠間がいいのでは、と提案したのだった。2005年のことである。そして、次の年「アートカクテル2006 in 笠間」展が実現した。企画の段階で、私は20回以上笠間を訪れることになり、その度に様々な体験をし、発見をした。来る度に、笠間ののんびりした空気の中で、私は忙しく動き回りながらもどこか懐かしく寛いだ雰囲気をもいつも味わっていた。

今回アートカクテルの笠間での2回目の展覧会が10月10日(土)～24日(土)に開催される運びとなった。今回参加するアーティストと共に会場探しのために私は何度も笠間を訪れることになった。笠間駅の古い木造駅舎を出るとみんな一様に「いいところだねえ。」と口を揃えて言うのだった。駅を出たばかりなのになぜ「いいところ」であるということがわかるのだろうか。なんかのんびりする

よねえというのが、彼らの一致した見解である。東京とは違う懐かしい時間が流れているのだそうだ。

懐かしい時間が流れるこの街のあちこちに現代美術と呼ばれる作品が置かれることになる。現代美術と懐かしい時間がどのようなハーモニーを奏でるのか、ぜひ足を運んでいただき現代美術と出会っていただきたいと思います。

※3ページに関連記事があります。

声 ファンファンボイス

～会員の皆様の声、いただきました～

●主人が笠間の大ファンです。将来は笠間でのんびりと焼き物でもできたらなあと思っています。(千葉県/女性)

●彼女が陶芸を習っている影響で、3～4年前から陶芸祭や匠のまつりに足を運んでいます。緑が多く、癒されるステキな街です。(茨城県/男性)

●私にとって笠間といえば陶芸です。昔の伝統にとらわれずに斬新な意匠に期待します。また50年、100年先を見据えて、その場しのぎのまち興しではなく、清潔なまちづくりを全国に先駆けてして欲しいです。(千葉県/男性)